

生成AI活用の1stステップに！

社内に散在した情報を
集約～ナレッジ活用するための
生成AI活用方法とは？



ますます企業のDXが加速する中、社内の膨大なデータをいかに効率よくかつ効果的に活用できるかが競争力の鍵となっています。しかし、多くの企業では、業務システム、クラウドストレージ、ファイルサーバーなどに情報が分散し、**必要なデータを迅速に見つけることが難しい状況**ではないでしょうか。その結果、意思決定の遅れや業務の非効率化に繋がることも多くないはずです。

社員が業務上必要な社内情報を見つけるのにかかる時間は、1日平均で1時間ほどかかると言われています。社内情報は見つけるだけでは不十分であり、ナレッジ活用にまで落とし込むことで本来の価値が生まれますが、データ量が多くかつ分散している状況では現実的ではありません。

そこで近年エンタープライズサーチ×生成AIが注目されています。**エンタープライズサーチで社内の情報を瞬時に発見し、生成AIによって情報の集約・整理を行うことで、業務効率化やナレッジ共有、意思決定スピードの向上が見込まれる**ためです。そこで本ホワイトペーパーでは、エンタープライズサーチ×生成AIの活用方法やメリットを紹介します。貴社のDX推進や生成AI活用のヒントとして、ぜひご活用ください。

この資料でわかること

1

社内に散在したデータを瞬時に見つける
エンタープライズサーチの活用法

2

生成AIを活用し業務効率化、ナレッジ共有、
意思決定スピード向上を実現する方法

— もくじ —

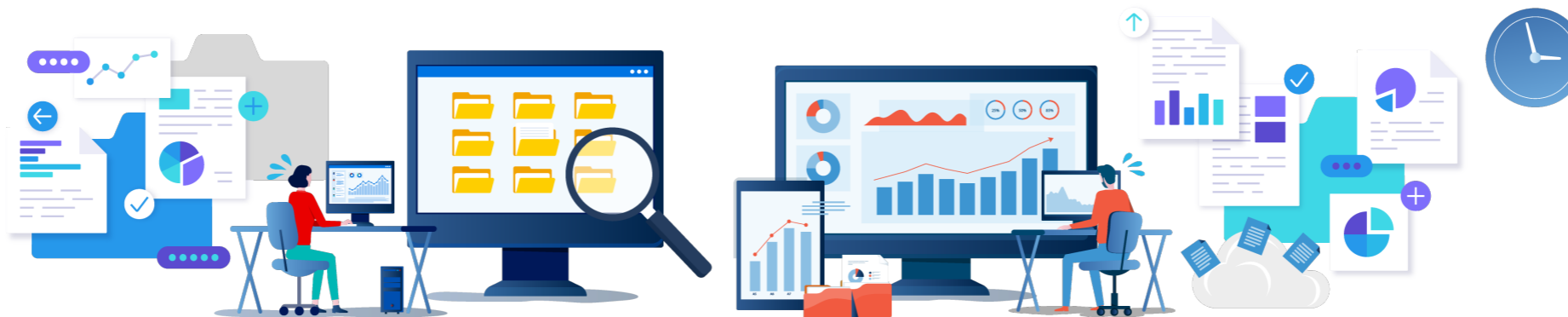
はじめに	P2
社内に散在した情報を見つけるのに時間がかかりすぎるリスク	P3
社内情報は見つけてからどうするかが重要	P4
生成AI時代の社内情報検索とは？	P5
データの整理不要で横断的かつ瞬時に社内検索ができる「Neuron ES」	P6
Neuron ESは各種生成AIと連携ができる	P7
Neuron ESの導入事例	P8
Neuron ES ×生成AIユースケース	P9
エンタープライズサーチ×生成AIで競合と差をつけよう	P10

※「Neuron ES」はブレインズテクノロジー株式会社の商標登録です

社内に散在した情報を見つけるのに時間がかかりすぎるリスク

企業規模が大きいまたは拠点が複数ある企業ほど、データの所在が業務システム、クラウドストレージ、ファイルサーバーなどに散在しがちです。この場合、業務上必要とする社内情報へのアクセスそのものに時間を擁してしまいます。その結果、**企業全体の生産性低下・業務効率の低下・情報の属人化**を招くことになり、競争力低下を招きます。

散在したデータを見つけるのに時間がかかりすぎると…



① 業務の非効率化と生産性の低下

本来の業務に充てるべき時間が減るため、従業員ひとりあたりの**生産性が低下**する

影響例

- ・レポートやプレゼン資料の作成に時間がかかり改善されない
- ・過去の契約書やマニュアルを見つけるだけで数時間かかる
- ・情報が見つからず、顧客対応スピード・質が落ちる

② 意思決定が遅れ、競争優位性を失う

プロジェクト推進に必要なデータの検索に時間がかかることで**意思決定のスピードが低下**する

影響例

- ・必要な市場データや業績レポートを迅速に取得できず、戦略決定が遅れる
- ・競合よりも早く市場対応ができず、ビジネスチャンスを逃す

③ 情報の属人化とナレッジの陳腐化

特定の担当者だけが重要な情報を持てる環境下では、担当者の不在・退職によって、**重要な情報が失われるリスク**がある。また、社内ナレッジが適切に蓄積・共有されないことで、過去の知見が活用されず、業務の重複が発生する

影響例

- ・「〇〇さんしか知らない」といった属人化による業務の停滞
- ・過去のプロジェクト資料やノウハウが活用されず、同じ作業を繰り返す
- ・ナレッジ共有ができず、部門間の連携が悪化する

社内情報を探す時間が長いほど、**機会損失のリスクが増えていく**

社内情報は見つけてからどうするかが重要

ただでさえ見つけるのに時間がかかる社内情報ですが、該当の情報を見つけるだけでは不十分です。業務に活用できるよう該当の情報をまとめたり、最新の情報に更新したりする必要があります。また、ナレッジの蓄積・共有をしやすいよう、当初とは別の場所にデータを格納しなおす必要もあるでしょう。

しかし、そもそもの社内検索に時間を奪われているため、本来必要な作業を実行できず、社内検索～情報要約・整理を各々がくり返し実行せざるを得ないのが現実です。

社内情報を見つけた後に実施したいタスク

情報を要約し誤情報を削除する



検索しても過去のものを含めた大量のドキュメントが表示され、誤ったデータも混在する。そのため、情報を要約し誤情報の削除、最新情報の追加が必要。

発見した情報をナレッジとして蓄積させる



データが膨大に存在する企業ほど「情報は見つかったが活用方法がわからない」ことがある。そのため、社内検索で該当する情報が、いつどのように活用されるのかを明文化し、社内に共有する必要がある。

データの格納場所を最適化する



古い情報はアーカイブしておいたり「〇ヶ月以上更新されていないものはレビュー対象」といったルールを設定するなど、次に検索をする社員の手間を省くための作業が必要。

上記が必要とわかっているけどできないのが現実…



「理想とわかっているけど実施できない」を解決するのがエンタープライズサーチ×生成AI

生成AI時代の社内情報検索とは？

紹介してきたように、企業の喫緊の課題は「社内情報を見つける作業の効率化」と「ナレッジの活用」です。この二つを解決するのが、生成AIを活用したエンタープライズサーチの導入です。**エンタープライズサーチとは、企業内の膨大なデータや文書を横断的に検索し、必要な情報を迅速に見つけるための検索システム**です。インターネットの検索エンジンの自社版と考えるとわかりやすいでしょう。

つまり、必要としている社内の情報をキーワード検索するだけで見つけ出すことができます。さらに、エンタープライズサーチで検索した情報を生成AIを活用して要約・精査することで、社内情報の検索～ナレッジ活用に必要な時間を劇的に削減することもできます。

エンタープライズサーチで
瞬時に見つける



生成AI要約・整理・追加する



期待できる効果

業務効率化 / リソース最適化 / 品質維持 / ナレッジ共有 / 属人化解消

「エンタープライズサーチ×生成AI」は業務効率化・属人化解消・生産性向上・ナレッジ活用すべてを実現できる

では、企業課題を解決するエンタープライズサーチは何を導入すべきなのか？

データの整理不要で横断的かつ瞬時に社内検索ができる「Neuron ES」

エンタープライズサーチを導入する際にポイントとなるのは「コスト」「検索のスピード」「オンプレミスとクラウドの横断検索の可否」です。エンタープライズサーチであるNeuron ESはそれらを満たしており、大規模導入の事例も多く、IT製品・サービス比較サイト『ITトレンド』エンタープライズサーチ部門にて、8年連続1位を達成しています。

※「NeuronES」は、株式会社Innovation&Co.が運営するIT製品・サービス比較サイト『ITトレンド』のエンタープライズサーチ部門において、2017年～2024年の間、8年連続1位を達成。

Neuron ESの特徴



買取とサブスクリプションが選べる

エンタープライズサーチは初期投資が必要なツールも多いなか「Neuron ES」は、月額ライセンス費用（保守費用込み）で利用できるサブスクリプション型も用意されている。



社内資料を横断的に一括検索可能

オンプレミスのファイルサーバからオンラインストレージやIaaSなどのクラウドまで、様々なデータストアを一度に検索できる



高速＆高精度の検索エンジンを採用

独自の検索エンジン（クローラー）により、クローリングが高速なため、検索インデックスを更新する時間が速い

加えてNeuron ESは**各種生成AIと連携が可能**なため、競争力向上を図りたい企業には欠かせない存在

Neuron ESは各種生成AIと連携ができる

エンタープライズサーチの存在を知っている方でも、まだ生成AIとの連携については検討・実施できていない方も多いのではないのでしょうか。

Neuron ESはOpenAIだけでなく、Bedrock,Vertex AIなど様々な生成AIサービスとの柔軟な連携が可能のため、お客様の環境に合わせて最適な生成サービスを選択できます。とはいえ生成AI活用にはいくつか懸念点もあります。そこでこのページではNeuron ESの生成AI連携において、生成AI活用の懸念点を解消する2つの特徴を紹介します。

Neuron ESの生成AI連携について

Neuron ES Enterprise Search 学習データのアップロード作業不要

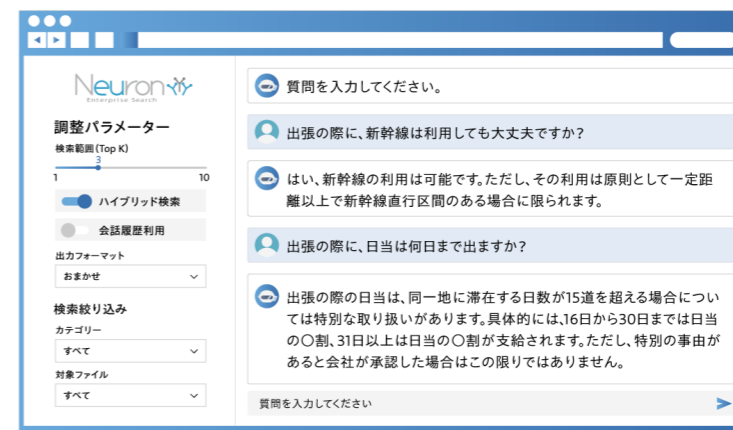


オンプレミスのファイルサーバや社内ポータル、クラウドストレージなどの資料やデータを学習基盤にできるため学習用データのアップロードなどの作業が不要。



ただし、Neuron ESの生成AI連携には別途構築作業が必要です。弊社パナソニック デジタル株式会社（以下、パナソニック デジタル）であれば、Neuron ESの導入から生成AI連携まで承ります。

深いナレッジを得られる



エンタープライズサーチに加え、検索結果に表示された文書に対して、対話型生成AIチャットで更に深掘りされた回答を得られる。

次ページにてパナソニック デジタルによるNeuron ES導入事例を紹介

エレクトロニクスを核とした技術商社の高千穂交易株式会社では、オンプレミスのファイルサーバやクラウドに跨って散在するデータの検索に頭を悩ませていました。その解決策として、パナソニック デジタルの展示会で出会ったNeuron ESに感銘を受け導入を決意。ファイルサーバやMicrosoft SharePoint Onlineだけでなく、Teachme BizやSalesforceとも連携を果たし、横断的な検索環境を実現しました。

Neuron ES導入前の課題



- ・データがファイルサーバやクラウドに散在しており、探したいデータを見つけづらかった
- ・クラウドサービスに置いているデータを横断的に検索したい

Neuron ES導入後の成果



- ・データを探すフローの**効率化に成功**
- ・オンプレミス、クラウドを問わず**横断的な検索が可能**に
- ・アクセス権のチェックが容易になったり、思わぬ資料の発見に繋がったりと想定外の効果も出ている

Neuron ES 活用イメージ



- ・全社ポータル のトップページにNeuron ESの検索窓を設置し、全社展開
- ・ファイルサーバのデータ約630万件、Microsoft SharePoint Onlineのデータ約64万件のほか、Teachme Biz（マニュアル作成・共有システム）の社内マニュアル約1,000件、Salesforceの図面・完成図書など約1万7,000件も検索可能
- ・ひとつの検索窓から、さまざまな社内データを一括で横断検索できる

Neuron ESをパナソニック デジタルから導入した理由



- ・導入効果を見極めるにあたり、途中で当初想定していた検証範囲を超えてボリュームが多くなったが、パナソニック デジタルの対応により**納得いくまでトライアルができた**。

パナソニック デジタルは一気に呵成に追い込むような営業や案内ではなく、歩調を合わせ、寄り添うスタイルであった。高千穂交易株式会社様にとってはこれが好ましく、Neuron ES導入に繋がった

ユースケース① 操業トラブル対応

課題

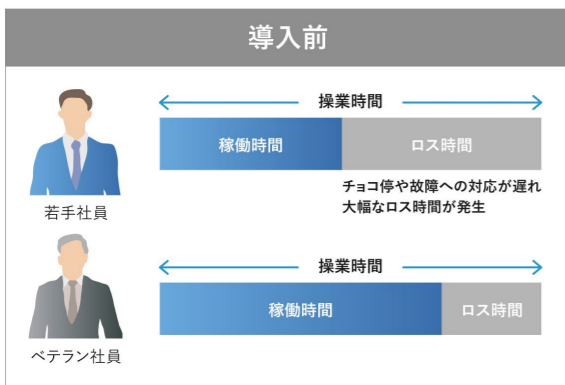
操業に必要なノウハウの属人化

ノウハウに習熟していない作業員はし最適なトラブル対応ができず、設備の稼働率・歩留率の低下につながる

エンタープライズサーチ
×
生成AI導入効果

従業員のスキルに依存しない安定操業の実現

エンタープライズサーチによって技術仕様書や過去トラを検索し、生成AIを使って適切なトラブル対応を確認できるため、設備の稼働率・歩留率が向上する



ユースケース② コールセンター

課題

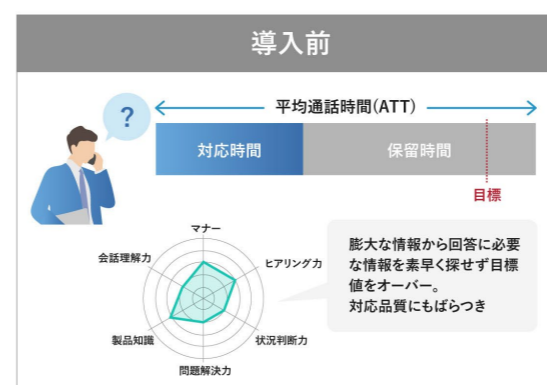
オペレーターの対応品質のばらつき

製品・サービスに関する情報をオペレーターが探し出せず、返答に時間がかかりすぎてしまう。また、担当者によってスキルに差があり顧客満足度が向上しない。

エンタープライズサーチ
×
生成AI導入効果

回答時間短縮、品質向上を実現

エンタープライズサーチによって回答に必要な情報を瞬時に見つけだせるうえに、生成AIによって回答サンプルを作成することで保留時間や通話時間を改善できる。オペレーターのスキルの差が無くなり顧客満足度も向上する。



エンタープライズサーチ × 生成AIは業界業種問わず機能し、企業の課題を解決する

エンタープライズサーチ×生成AIで競合と差をつけよう

エンタープライズサーチと生成AIの掛け合わせは、生成AI活用の第一歩として取り組みやすい施策のひとつです。

現状、社内検索に時間がかかっており、業務効率化・生産性向上を実現したいという場合には、ぜひNeuron ESと生成AIの連携を検討してみてください。なお、Neuron ESと生成AIの連携にはシステム構築が必要であり、弊社パナソニック デジタルであれば、対応が可能です。

エンタープライズサーチ×生成AIをご検討されている方は弊社の資料をご覧くださいませ。

パナソニック デジタルは手厚いサポートをご提供いたします

- Neuron ESに関する情報提供、ご提案
- Neuron ESと生成AI連携構築対応
- 迅速なレスポンス

Neuron ESのサービス資料をダウンロードする

エンタープライズサーチ×生成AIについて問合せする



ご連絡先

パナソニック デジタル株式会社

大阪本社 TEL：06-6906-2801 住所：〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町2番40号 Panasonic XC OSAKA

東京本社 TEL：03-5148-5634 住所：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号 住友不動産汐留浜離宮ビル23階

Panasonic